

堺泉北港泉北6区緑地整備事業について

【意見具申の内容】(平成13年8月27日)

堺泉北港泉北6区緑地については、海域空間を埋立てることもあり、港湾内に「**府民が自然に親しみ憩える水際空間を形成するとともに人や生物にとって良好な海辺環境を創出する**」ことの必要性は認められる。

しかしながら、平成4年度の事業採択後10年を経過し、府民ニーズ、社会経済情勢、自然環境に対する価値観などが変化している中で、予定している整備内容が現時点で全て必要なものかどうかについては疑問である。

そのため、整備の内容及び手順等について改めて検討を行う必要があることから、本事業は「**見直し**」と判断する。

ただし、本事業のうち緑道部分については概ね完成しているが、良好な海辺環境の創出という事業効果を発揮させる観点から引き続き整備を進め、予定通り完成させることが妥当であると考えられる。

緑道以外の未整備部分については、今後、**建設費のみならず将来の維持管理費も含めたコスト縮減のさらなる工夫**を行いつつ、

地元市をはじめ関係者や利用者などと十分協議・意見交換

しながら計画の再検討を行われたい。また、その際には、今後の社会経済情勢や府民の自然環境に対する意識の変化等にも柔軟に対応できるよう、**段階的整備に考慮し、当面、必要不可欠な基盤的整備に限定した計画変更**となるよう留意すべきである。

今後、整備内容の**見直し案がまとまった段階で、本委員会に示されたい。**

その上で、委員会として判断を行う

こととし、それまでは、緑道部分以外の工事に着手しないことを求める。

【府の対応方針】(平成13年9月7日)

堺泉北港泉北6区緑地については、「**見直し**」とし、**整備の内容及び手順等について改めて検討を行う。**

ただし、緑道部分については、引き続き残事業の整備を進め、早期の事業効果の発現を目指す。

緑道以外の未整備部分については、

建設費だけでなく将来の維持管理費も含めたコスト縮減

について、さらなる工夫を行うとともに、

地元市をはじめ関係者や利用者などと十分協議・意見交換

しながら整備の内容及び手順等について再検討を行う。その際には、今後の社会経済情勢や府民の自然環境に対する意識の変化等にも柔軟に対応できるよう、**段階的整備に考慮し、当面、必要不可欠な基盤的整備とする。**

なお、今後、整備内容の

見直し案がまとまった段階で、その内容を委員会に示し、

緑道以外の未整備部分の

工事着手について判断を求める。

【見直しの概要】

整備の内容及び手順の見直し……資料 A、資料 B
緑地タイプの見直し

レクリエーション等多機能を有する都市公園的な緑地 → 自然系の緑地

コスト縮減

(建設コスト縮減の項目)

- ・緑地タイプの変更による施設内容の見直し
- ・土工バランスの精査
- ・植栽エリアの一部を自然に委ねることとした
- ・利便施設の整備手法の検討

(維持管理費削減の項目)

- ・市との協力体制の充実
- ・市民・NPO等との協働による清掃など維持管理の実施

	見直し前	見直し後
事業費	23.2億円	17.0億円
緑道部	11.5億円	11.5億円
緑地部	11.7億円	5.5億円
主な施設	緑道、多目的広場、野鳥園、海辺のプレート	緑道、野鳥園、散策の森
投資金額・進捗率 (H14末迄見込)	9.38億円 40.4%	同左

整備の手順

- ・整備は、緑地基盤の造成と施設整備をフェーズ1、フェーズ2、フェーズ3の3段階で想定
- ・緑地基盤の造成後、ワークショップ開催により施設内容、整備手法を検討し、柔軟に対応をしていく
- ・施設の利用状況、自然の回復状況、地区の熟成度などを見ながら実施していく

市民等との協働

- ・記念植樹など市民参加による整備を行う
- ・園内清掃などを市民・ボランティア等で行う
- ・市民・NPO等による野鳥観察会の実施

地元市、NPO等関係者との協議・意見交換に関して……資料 C

地域住民が計画づくりに参加できるワークショップ形式で実施

構成メンバー……地元市(泉大津・高石市) 地元企業、野鳥の会と地域住民